



2020年4月1日発行
 (毎月1日発行)
 1984年8月15日第3種郵便物認可
 発行所/(公財)熊本YMCA
 〒860-8739
 熊本市中央区新町1-3-8
 Tel 096-353-6397代



成人ウエルネス会員 松永 圭史さん

小学生時代から始まった縁

熊本市南区田迎にあるYMCAみなみセンターに通う松永圭史さん。子どもクラスの水泳教室にお子さんが通っていることから、2019年8月から始まった「親子会員」制度を利用し、フィットネスに通い始めました。「実はYMCAとはずっと昔から縁があるんです」と微笑みます。

小中高と水泳部に所属し、部活動に明け暮れていた松永さん。勉強面のフォローのために通っていたのが、YMCAの学習クラスでした。「小5から中3頃まで通いました。無理やり勉強させるのではなく、個性を認め成長をあたたく見守ってくれました」と思い出を語ります。その後大学に進学すると、なじみ深いYMCAで働けることに魅力を感じ、YMCA南部センター(当時)をアルバイト先に選びました。プールの安全管理のほか、成人対象の講習会で泳ぎ方の指導を行うことも。「スタッフはもちろん会員さんたちともすぐに仲良くなれて、居心地のいい環境でした。卒業でバイトを辞める時も、追い出し会を盛大に行ってくれました。それと…妻との出会いも、YMCAがきっかけだったんです」と照れ笑い。もともと人見知りだったという松永さんですが、YMCAで様々な年代の人と話せたことで会話の引き出しも増え、社会人になった今、大きな武器になっているといいます。

「一生、YMCA」が目標です

安心して子どもを任せられる場所

実は、他のスイミングスクールでの勤務経験もあったという松永さん。だからこそ、一人ひとりの成長に合わせて手厚く指導するYMCAらしい水泳教室の魅力を深く実感したのだそう。結婚して生まれた2人のお子さん、結希乃ちゃん(7歳)、朋希くん(5歳)に水泳を習わせたいと考えた時、YMCAを選んだのも、自然な流れでした。

通い始めて約1年。「2人とも、本当に楽しそうなんです。YMCAに行く日は『まだ?早く行こうよ』と言ってくるくらい」と松永さんの表情もほころびます。「上手に泳げるようになることも大事ですが、他の子どもたちとふれあえることに、大きな価値があると思います。保育園・学校と家庭以外の『大切な居場所』を持って、人とのつながりや世界を広げて行くことの喜びを、もっと感じてほしいですね」と松永さん。今後はYMCAの国際交流などを通して、いろんな文化圏の人々とふれ合える機会も増やしたいと思っているそうです。



毎日を豊かに、健やかに

松永さん自身は、IT系の企業へ就職した後、十数年間スポーツから遠ざかっていました。さらに重症筋無力症という難病を患い、治療を続ける中で体力の衰えも感じていたといいます。そんな時に親子会員制度がスタートし、体調を心配していた家族の勧めもあってみなみセンターに通い始めました。仕事帰りや子どもの水泳教室の際など、多い時は週4~5回通うこともあるそう。「筋肉がついて基礎体力がアップしたことが大きな変化ですね。県外出張も多いのですが、以前は病の影響もあり、ぐったり疲れていたんです。でも今はシャキッと働けて、オンもオフも充実してきたと感じます」。

お子さんたちと同様、松永さんにとってもYMCAは大切な居場所となっています。「学生時代にお会いしていたスタッフや会員の方と今も顔を合わせるなど多くの方と話すのも楽しい時間。このあたたかで居心地の良い雰囲気は、YMCAならではのようです」。

今の目標は、長年通われている会員さんのように「一生、YMCA」で楽しむこと。「この大切な居場所があることで、私も家族も毎日をもっと豊かに過ごして、いろんな世界の扉を開いていけるといいですね」。



Pickup

YMCA学院卒業式



水前寺幼稚園
 食育プログラム
 みそまる作り体験

熊本五福幼稚園
 卒園式



Information 行こう 見よう 深めよう

5月16日~9月19日

YMCA学院 オープンキャンパス

学び
×
体験

2021年度から新校舎に移転する専門学校YMCA学院。健康スポーツ科・こども保育科・ホテル観光科・建築科・医療秘書科の各学科の魅力にふれることができるオープンキャンパスを開催します。

回 5月16日(土)・6月6日(土)・20日(土)
7月4日(土)・18日(土)・30日(木)
8月8日(土)・18日(火)・24日(月)・29日(土)
9月5日(土)・19日(土)

※8月は企画がもりだくさん。

8月8日(土)／特別企画。企業見学もあります。
うれしいランチ付き。

8月24日(月)／高校1・2年生対象の職業理解イベント

8月29日(土)／お友だち同士での参加大歓迎

場 YMCA学院中央校舎(熊本市新町1-3-8)

因 体験授業・在学生との交流など

※日程により異なります 〇無料

〇予約制です。Webサイトからお申込みください。

〇YMCA学院 Tel 096-353-6393



申込みはWebで



活動の様子
Instagram



大学生・専門学校生が活躍 YMCAユースリーダー募集

出会い
×
学び

YMCAには、子どもと関わる活動、スポーツ、キャンプ、健康づくりのサポートをするボランティア活動の機会がたくさんあります。新しい経験や出会いを通して自分自身の成長を目指してみませんか？

こどもスポーツプログラム(水泳・体操・サッカー)

教員を目指す人、子どもが好きな人など、未経験者でも指導研修などがあります。

因 幼児・小学生対象のスポーツスクールの指導補助 〇中央・みなみ・ながみねファミリー・むさしセンター 〇平日・土曜日の3~5時間程度 ※給与支給あり。

野外活動・キャンプ

子どもたちと共に、野外活動を通して自然の豊かさを知り、仲間や新しい自分との出会いの中で生きる力を育みます。子どもたちに寄り添い、成長を一番近くで見守ります。

因 野外活動クラブ/月1回の活動(週末)・シーズンキャンプ/長期休み期間の様々なテーマのキャンプ 〇最寄りのセンターにお問い合わせください。

成人フィットネス

フィットネス施設でのトレーニングサポートなどを行います。

〇みなみ・ながみねファミリー・むさしセンター

〇平日9:00~23:00の3~5時間程度 土・日曜日も歓迎 ※給与支給あり・要問合せ

〇最寄りのセンターにお問い合わせください。



回日時 〇会場 〇内容 〇参加費 〇定員 〇参加条件 〇持ち物 〇対象 〇主催 〇締切 〇申込 〇問合せ 〇その他



合志市総合健康センター 「ユープレス弁天」の指定管理を開始

2020年4月より、熊本YMCAが代表を務める「ユープレス弁天共同企業体」が指定管理者となり、合志市にある総合健康センター「ユープレス弁天」の運営を開始します。

ユープレス弁天は、天然温泉をはじめプール、トレーニングジム、レストラン、売店などを有する県内最大級の温泉レジャー施設です。地域の皆さんが集い、交わる、新たなコミュニティづくりの拠点を目指していきます。皆さんのご来館をお待ちしています。

合志市総合健康センター ユープレス弁天 合志市野々島2441-1 Tel 096-348-2626



全天候型温水プール

流水プール、25mプール、幼児用のプールがあり、1年を通してご家族で楽しめます。



トレーニングジム

写真はイメージです

各種トレーニングマシンで全身バランスよく運動。健康維持、体力づくり、シェイプアップができます。



天然温泉・サウナ

炭酸成分で湯冷めしにくく美肌効果のある温泉です。サウナ、露天風呂、歩行浴なども楽しめます。

R | E | P | O | R | T

[3月2日⇒ 3月19日]

子ども

リーダーと一緒に過ごそう

新型コロナで子どもたちを支援

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、熊本YMCAでは一部を除いたプログラムを3月2日(月)から休講。県内の小学校等が休校になる中、子どもたちや保護者を支援するための活動に取り組みました。



子どもの居場所支援プログラム

休校中、みなみセンターとむさしセンターでは、ひとり親家庭、共働き家庭を支援しようと、通常夕方から行っているアフタースクール(学童保育)の在籍生を朝から受け入れ可能に。体調チェックや消毒、換気などの対策をとりながら、子どもたちは朝から宿題や勉強を行い、体育室や近くの公園でのびのびと遊びました。子どもたちは「たくさんのリーダーたちが、一緒に遊んでくれるので楽しい」「体育室や公園で遊べるのでうれしい」と話してくれました。

中央センターとながみねファミリーセンターで、小学生を対象に1日単位の預かりプログラムを実施。中央センターでは、学習サポートやレクリエーションの他、広い体育館を使ってスポーツを楽しみました。保護者からは「祖母に預かってもらうこともできますが、毎日頼るわけにはいかないのとでも助かります」などの声が聞かれました。

幼稚園・幼児園特別プログラム

ぶどうの木幼児園の子どもたちは3月も元気に登園。外出もままならない状況の中、園児の心と体を守り、育むことを目的に、3月9日(月)から特別スポーツプログラムを実施しました。普段の保育に加え、日替わりで体操や水泳の時間を設け、リーダーたちと一緒にたくさん身体を動かしました。子どもたちは毎回「楽しかった!」と笑顔を見せてくれました。

挨拶やお返事、お友だちに優しくする、整理整頓など、普段の保育でも心がけていることに併せて、困難な状況でも水泳や体操ができることへの感謝の気持ちも大切にしながら過ごしました。

また、水前寺幼稚園・熊本五福幼稚園では3月12日(木)～19日(木)にサッカーと体操クラスを実施。子どもたちに運動する場と機会を提供しました。



専門学校

卒業制作発表会

YMCA学院建築科

YMCA学院建築科では、2年次に建築デザイン・インテリアデザイン・都市デザインの3コースでそれぞれ卒業制作に取り組みます。前期は、設計の基本プランを完了。後期は、基本プランをベースに、図面・パース・模型を作成します。3月2日(月)にその集大成として、卒業制作発表会が開催されました。

建築デザインコースでは、「思い出のハコ～浮遊空間を楽しむ認定こども園～」、「OASIS～くつろぎの空間～」等の設計案、インテリアデザインコースでは、「ぼっくす(好きなものに囲まれる幸せ)」等を

テーマに制作しました。都市デザインコースでは、「緑と生きる町へ。くまもと」として、熊本駅周辺の都市デザインと、熊本駅・繁華街及び阿蘇くまもと空港とを結ぶ動線計画について、図面の作成・模型の製作をし、プロジェクトの一案を発表しました。

学生は、それぞれ緊張した面持ちでしたが、終了後は「やっと終わった!」と、充実感に満ちた笑顔が見られました。3月5日(木)、YMCA学院建築科の卒業生として、はつらつとした姿で社会に巣立っていききました。 職員 園田進



岡総主事の タラント Vol.68



仕えるために

新しい芽が息吹く季節となりました。例年とは違い晴れやかな気持ちとはいきませんが、それぞれが希望を持って夢に向かって歩んでいただくことを願っています。

熊本YMCAは新たな時代を迎えるために、様々な事業構造の変革と熊本地震からの復興に取り組んでいます。将来へ希望をつなぎ、輝く

ために、職員、会員、ボランティアと英知を結集して、これまで先駆的働きをしてきたYMCAの力を改めて発揮していきます。

私たちYMCA職員は「神と人に仕え、社会に奉仕する」志を持つ働き人として、仕える者、寄り添う人でありたいと思います。

YMCAは、多様なサービスやプログラムを通して一人ひとりの成長に寄り添っています。「寄り添う」の類義語には、「いたわり合う」「真心を込めて」という言葉があります。それは、物理的にただそばにいただけでなく、相手の気持ちに添い、共感して、かたわらにいるということの意味します。現代社会の中では、隣人に寄り添うことが軽視され、大切な価値観が忘れ去られて、家庭や社会の中から真の平和と潤いが失

われています。寄り添う姿勢に私たちの内面や社会の成熟度が問われていると思います。

相手に寄り添う無償の愛は、見返りを求めることなく、犠牲をいとわず、とことん相手に尽くす心構えで、一人ひとりが目の前の小さな人々に寄り添い、仕えていくことです。職員はもとより、YMCAに連なる私たちはその生き方を地域社会や次世代に示す者でありたいものです。より良い人間関係を築くだけでなく、社会に貢献できる生き方へと変革し、自らが「ポジティブネット」を体現する者となれるよう、皆さんと共に歩んでいきたいと思っています。

新しい年度が、神様から健康が守られ、御心になつた働きとなりますよう、皆様のご支援とお力添えをお願い申し上げます。

t a l a n t o n

YMCA学院チャリティー講演会

「ほめ育」～50万人、世界16カ国に広がる教育メソッド～

2月14日(金)に開催された、原邦雄さんによるチャリティー講演会「ほめ育」より、内容の一部を抜粋してご紹介します。



原 邦雄さん
ほめ育財団代表理事
元 神戸YMCAボランティア
リーダー

「人は、ほめられるために生まれてきた」。私はこの言葉と、自らの経験をもとにしたほめて人を育てる「ほめ育」という教育メソッドを、日本はもちろん、世界中に広める活動を行っています。これまでに、のべ100万人以上にほめることの素晴らしさを伝えてきました。脳科学・心理学をミックスしたこの教育メソッドは、大人だけでなく幼児教育にも活用できるとして、国内外の200社、日本の保育園などに導入されています。

世界の国々の経営者たちは、「どうしたら部下が育つか」という共通した悩みを持っています。人は、ほめられて育ちます。ある飲食店では、お客様からほめられるような事柄をした従業員を、社内でほめることにしました。店長は、従業員をほめる具体的な言葉を「ほめシート」に書き出し、本人の前で言葉にします。その言葉を受けとった従業員は、やる気がアップします。するとチーム運営がうまくいくようになり、離職率が低下し、売り上げが伸びていきました。

人は、自分をほめる程度にしか相手をほめることができません。そして、ほめるためには、「相手を知る作業」こそが大切です。相手が大事にしているこ

とを知らなければ、ほめることができないからです。デジタル化が進み便利な世の中ですが、今後は相手との対話といったアナログさが必要とされるのではないのでしょうか。そして、できないところを粗探しせず、相手のプラスの部分に焦点を合わせることも重要です。ほめる基準は叱る基準になるため、一貫性を持ってほめるために大切な点といえます。相手に期待していることも伝えます。その時は、相手が少し背伸びをすれば手の届く目標を設定すること。達成して自信が生まれた時に、「すごいね」とほめ言葉をかけるのです。そこに本当の「ほめ」が発生します。自信は、未来の力を信じることであります。自信があれば、自立して様々なことを乗り越えていけるはずですよ。



ワークショップも実施

熊本地震追悼行事

最大震度7の揺れを二度観測した熊本地震は、2016年4月14日の前震発生から4年を迎えます。

益城町の17カ所の仮設団地が2020年6月から木山仮設団地に順次集約される予定です。熊本YMCAは引き続き地域支え合いセンターを運営し、居住者の見守り支援活動を行うとともに、コミュニティの再生の課題にも向き合っていきます。

関連行事

4月14日(火)～16日(木)には、木山仮設団地で追悼行事が行われます。

◆追悼竹とうろう

日時 4月14日(火) 19:00～ / 4月15日(水) 19:00～

◆黙とう

日時 4月14日(火) 21:26 / 4月16日(木) 1:25

場所 木山仮設団地 東集会所

主催 木山仮設団地熊本地震追悼行事の会

※新型コロナウイルス感染症の影響により、当日、益城町の公立学校が臨時休校の場合は中止の予定です。



わたしと聖句



大津キリスト教会
米村英二

ペトロの手紙一 5章7節

思い煩いは、何もかも神にお任せしなさい。

心配事

冒頭の聖句は、英語では、「Cast all your anxiety on Him」(心配事はすべて神に投げよ)となっている。

北海道では、ゴミを捨てることを「投げる」と言うそうだ。われわれの心配事も、そのぐらいのつもりで、思い切って「投げ捨てる」必要があるのかもしれない。

なぜ投げ捨てるのか。われわれにその処理能力がないからである。

捨てないでいると、あっという間に部屋はゴミで溢れ、足の踏み場もなくなってしまう。

心配事も同じだ。それは日々増加し、拡大し、他の健全な考えが入ってくる余地がないほどまでに心を占領することになるだろう。

だから「ゴミ捨て」は毎日やったほうがいい。翌日までとっておかない。できるだけ早く捨てる。

では、どこに捨てるのか。

ゴミにゴミ処理場があるように、心配事にも、その処理場がある。それを分離し、浄化し、再生してくれるところがある。

不敬な言い方かもしれないが、私たちの心配事の処理場とは神様だ。神様だけが、私たちの悩みや心配を正しく扱い、解決できる方であって、私たちにその能力はないのである。

そこでパウロは、こう助言する。

「どんなことでも、思い煩うのはやめなさい。

何事につけ、感謝を込めて祈りと願いをささげ、求めているものを神に打ち明けなさい。そうすれば、あらゆる人知を超える神の平和が、あなたがたの心と考えとをキリスト・イエスによって守るでしょう。」(フィリピの信徒への手紙4章6-7節)

発行所／(公財)熊本YMCA
〒860-8739 熊本市中央区新町1-3-8
TEL 096-353-6397(代)

発行人／岡成也 編集人／日野 充裕
定価60円 購読料は会費に含む

www.kumamoto-ymca.or.jp



熊本YMCAの使命

共に生きる社会 生涯学習の推進 ボランティア活動
地球環境の保全 ウェルネス活動 平和な世界

2020年度基本聖句

テサロニケの信徒への手紙一 5章13節
愛をもって心から尊敬し 互いに平和に過ごさなさい。